

平成26年度 北灘西小学校「学力向上実行プラン」H26.6.2

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況			
よさ	漢字の読み書きや四則計算などについては、ある程度の定着が見られる。	課題	書くことに抵抗感がある児童が多く、文章を分かりやすく書くことが難しい。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
宿題や日記を毎日書かさず提出ができ、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得することができる		標準学力検査(CRT)で、知識・理解・技能の項目で、全国平均値を上回る。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①視写や計算の時間を設けて、継続的にドリル学習をし、定期的に定着確認テストを行う。 ②計画的に宿題を出すとともに、日記指導を充実させる。 *中間期の見直し		①各単元末に定着確認テストを行う。 ②テーマを決めて日記を書き、それを学年だよりや学校だよりで紹介する。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況			
よさ	学習発表会などを通じて、発表することを好み、方法や手順が分かることと意欲的に取り組む。	課題	自分の課題や目的に応じて聞き取ったりまとめたりする力、必要な情報を選択し、筋道を立てて説明する力に課題が見られる。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
①目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを進んで話したり、書いたりできる。		①「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しい」(児童へのアンケート)の割合を25%以下にする。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①研修により、有効な手立てを共有する。 *中間期の見直し		学力向上に関する研修を学期ごとに実施する。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況			
よさ	ICT機器を活用した表現活動を好み、調べたことをまとめたり、発表したりする活動が得意である。	課題	家庭学習の習慣や朝の読書が定着していない児童があり、課題に対して根気強く取り組むことにも課題が見られる
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
家庭との連携を通して、適切な家庭学習や読書の習慣を身につけさせるとともに、自ら学ぶことの楽しさを実感させる。		①「わたしは、家庭学習をきちんとしている」(児童へのアンケート)の割合を25%以下にする。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①定期的に図書室を利用し、読んだ本の冊数を記録して、読書活動に目標を持たせる ②「家庭学習の手引き」をもとに、保護者と連携して、学習習慣の定着に取り組む。 *中間期の見直し		①各月の読書冊数1人10冊以上にする。 ②保護者アンケート「子どもは家庭学習をきちんとしている」の割合を80%以上にする。	
達成状況を踏まえた改善事項			